京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【障害事業所版】

評価結果対比シート

受診施設名	相談支援センターまごのて西陣		
施設種別	相談支援		
評価機関名	一般社団法人京都社会福祉士会		
訪問調査日	令和5年11月14日		

福祉サービスの基本方針と組織

部一部一	章 不用 日	张	4		評価	結果
大田二十二	E A		ь		自己評価	第三者評価
I – 1 理念、基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知 ている。	1 1	Θ	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	В	р
[自由記述欄]						

周知してい r ペての人々が豊かで幸せになること」を法人理念として掲げています。ホームページへの掲載や事務所内に掲示し、 しかし、利用者や家族に対して、わかりやすい資料などを用いた説明は行っていません。 10

四年今都	三张 任 佰 日	州	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	 型框	評価結果
THE STATE	K	H		自己評価	第三者評価
I - 2	1 30	2	① 法人として事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	q	p
経営状況の把握	そなり《によい画》にいるる。	3	② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	В	B
[自由記述欄]					

事業所が 2. 全国介護事業者連盟に加盟し、社会福祉事業の動向の把握に努めています。上京こころのふれあいネットワークに参加し、事業所ある地域のニーズなどを把握しています。しかし、把握した情報を事業計画に反映していません。3. 管理者は、統括本部長と定期的な面談を行うことによって、経営などに関しての課題などを明らかにしています。課題については、役員会において会長や社長などの役員間で共有しています。職員に対しても日頃から課題などについて伝えています。

	型価料用
7.	

編を
法人として中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 中・長期のビジョンを踏まえた単年度の計画が策定されている。
た単年度の計
事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に 行われ、職員が理解している。
障害のある本人等に周知され、

役員以外には 文書としての策定はありません。 しかし、 人材などについて明確な計画を立てています 4. 役員会において、法人の事業計画(5年間)を策定し、収支、人材などについて明確な 開示されておらず、組織的に行っているとは言えません。5.6.7. 単年度の事業計画については、管理者と統括本部長が話し合いを行っていますが、

郵価分類	郵価項目	松舞	四 集 通	計画	結果
	1	田	III WIII	自己評価	第三者評価
- 4 中 十	<u> </u>	8	① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ø	p
の向上への組織的・計画的な取組	ユニョンに収拾が治義 に行われている。	6	② 評価結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にし、計 画的な改善策を実施している。	æ	o
「単手は七七」		Programme and a second			A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH

かか ビスの質の向上を図っています 4 管理者と職員の2名で事業を運営しており、お互いに作成した支援計画をチェックし、事業所としての自己評価は行っておらず、第三者評価の受診も今回が初めてです。自己評価を行っていないため、評価に基づく課題については、対応していません。

管理 組織の運営 口

	田村田常	米四	1		評価結果	結果
2	计画项目	田田	my mil La		自己評価	第三者評価
	II-1-(1) 佐田本の書にお問なによってい	10	① 管理者は、自らの役割 図っている。	と責任を職員に対して表明し理解を	q	q
# # #	8. 生もの見てか労靡しられている。 る。	11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	るための取組を行ってい	B	q
音体台の具在C リーダーシップ	II-1-(2) 解団サのコーガー: ここれが結下	12	① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、 シップを発揮している。	ち、その取組にリーダー	q	q
	旨性有のソーターンツノが光律されている。	13	② 経営の改善や業務 発揮している。	の実行性を高める取組にリーダーシップを	q	q
Company of the	CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF	STATE OF STATE	THE PROPERTY OF THE PROPERTY O		PRANTING SECTION	STATE OF THE PERSON

の際の役せん。上必要な ん。 必要な 害時(いませ)業務 然てど 等明法しなった。 ル表通 ニュア/ ついて引 道路交送 マロウ 対役を割り ・明書に記載し、利用者や家族にも周知しています。 ジェは職務分掌や組織内の広報誌等がなく、管理者の名待っている虐待研修などに参加しています。職員に対し、関連のある法令のリスト化はしていません。 ターが行っている研修などへの参加を促すことで、 すをチェックを行っていますが、管理者は質の向上に [をチェックを行っていますが、管理者は質の向上に] ています。ジ 、管理者の後す。職員に対す。職員に対 ・ 管理者の役割と責任について、重要事項説明書に などを明記しています。しかし、職員に対しては職別・ 管理者は、集団指導や社会福祉協議会等が行っていて守るように周知しています。しかし、関い、管理者は、職員に対して基幹相談支援センターが引い。また、お互いに作成した利用者の支援計画をチェン。また、お互いに作成した利用者の支援計画をチェン。 由記述欄]

いましてい 40 こ始め, スの質の向上に 課題の把握まで どる サート ,11

WH 務の実効性? 業る . 10 当画 な参 10 B 担当する職員を決定す 会議が行われていたた て青 道に 1000年3月 性すせ 者の特が主催されていまれ 用社し を行い、利用 ナ禍前は会社 いため参画し ンなどの環境整備を については、コロナ 、代替の会議もない 「着く 女業務用携帯電話やパソコ としています。経営の改善 現在は管理者会議がなく

11年/大地	日本用語	推到	1135	申 本	評価結果
計画と数	口及画件	田田田		自己評価	第三者評価
	I-2-(1) 短加1村の郊母・善品計画 1車	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立 し、取組が実施されている。	q	q
I-2 福祉人材の確保・	福生へなり程来、自分記画、ヘキー管理の体制が整備されている。	15	② 総合的な人事管理が行われている。	q	q
操	I-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされて いる。	16	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	Ø
「単光早七七」	the section of the se	SAME LINE		Captage Castage	PARTICIPATION AND REPORT

<u>らめています。現在、管理者を含め職員2名体制ですが、職員の増員を検討し</u> 程保に努めています。育成のための計画については確認できませんでした。 職員に求めることを記載しています。そのキャリアパスは職員に周知してい、職員の目標や意向の確認を行っていますが、処遇改善の取り組みについて「

統括本部長 できませんで :。 ,ています。 いては確認⁷

ています。管理: 用を事業所が負: 介の費用 松松 雞騀 に業務調整 休暇や懇親 じて休暇の取得のため! ています。バースデイ 管理者が把握し、必要に応 、相談しやすい状況になっ. Y, ついて、 を取っ 14. 事業計画の中で人員体制について定めめ、福祉フェアなどに参加し、職員の確保
15. 職種ごとのキャリアパスを策定し、職が人事考課を行い、年3回面談を実施し、職した。
16. 有給休暇の取得状況や時間外労働につい、再額は、日頃からコミュニケーションを するなどの福利厚生を行っています。

9年/用 / NG	日 野土 岩	张 宏		1 見	評価結果	結果
	計画項目	田田田			自己評価	第三者評価
		<i>L</i> 1	①	17 ① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	q	q
	I-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	18	8	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	q	q
u-2 福祉人材の確保・ 養成		19	3	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	I-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる 専門職の研修・育成が適切に行わ れている。	20	Θ	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	1	1

る職員 を確認 参加す ールなど 0 4 たせん。 です。研修内容によっませんでした。 回 [自由記述機]

回

こるまにからした。 1会福祉協議会などからの外部研修の案内は職員に回覧して 参加したいと希望があった際にも、業務としての参加でき を決め、 17. 統括本部長が、職員との面談を年3回行い、職員一人ひとりの目標や業務に対する意向、アピールなどは書面で確認していますが、進捗状況や達成度の確認は行っていません。
18. 基幹相談支援センターが実施しているスキルアップ研修などに参加しています。研修内容た職員は伝達研修を行っています。しかし、法人内の研修計画について確認できませんでした19. 職員が配属された時には、管理者により0.1を行い、育成しています。社会福祉協議会ないます。研修内容により、業務として参加の指示を行っています。職員から参加したいと希望るように業務調整をしています。
20. 非該当。実習生等の受入れは行っていません。

間角ぐ端	三亚(邢 百 日	光光		即 伊 田	計量	価結果
AK COMIT LA	K	H			自己評価	第三者評価
1-3 年出来 多手門	1-3-(1) 1-3-(1) 1-3-(1) 1-3-(1)	21	9	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	Ø	q
2 H S	連当り20分にで確保する/50分割が行われている。 おが行われている。	22	0	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	q	q
「電光は七石」		9				

アビジ これでまけてませ 441 CH なし うに 加田 トがあり よて 見れる。 につい 大用のパンフレット さんでした。 な人の経営状況を見 運営や財務状況に き来人をはません。まれば、は、まない。 すで全対 ま認員に してんい。 等は確認 等で役員 の職員! **思** 七 4 8 説ッ員 をし役の 、の活動などるにたパンフロントによっています。他ではます。他になるので、のではない。 人載っし 、をがし法記担か し業員 加事役す 一全法什 りのに受 ト人主を り法、言 いしてした。体が体動 こった でます。 税事学 税組士

証価今網	至近年/百日	地			神	評価結果
at part sat	TAT	国			自己評価	第三者評価
	11-4-(1) 法註 2 (图) (2 () 2 () 2 () 2 () 2 () 2 () 2 () 3 () 3 () 3 () 3 () 3 () 3 () 3 () 3 () 3 () 3 ()	23	Θ	① 障害のある本人と地域との交流を広げるための取組を行っている。	q	q
	でみての対所が過ぎに唯不られている。	24	0	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を 確立している。	1	ı
I-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されてい 25 る。		Θ	① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機 関等との連携が適切に行われている。	6	æ
	11-4-(3) 中村の行いのことのよめの形名を	26	Θ	① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	q	p
	でなり 行っている。	27	0	地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	q	q
[自由記述欄]						

自立運営協 地域との関わり また んか to にまら P دا で利用者に提供 لد IJ 144 大等 2 を収集(

そつこな _ 一位女儿)活性化などに対応 5定です。 3会もあります。そ 7が、地域貢献につ (の地域の)後の地域を存むがある。 (ののの)を (のの)を (のの) いつでも必要な時に提供できるようにしてて取り組む体制ができています。地域の様々な機関と連携、協力しながら、おります。災害時の個別避難計画は、今後負や地域包括支援センターの職員等と話しています。地域の福祉ニーズの把握はして 「なっていません。 原のリストについては、いつ 第して問題の解決に向けて取 の活動に参加しています。地 お時の対応マニュアルがあり に参加しており、民生委員や ズについての把握に努めてい 23. 利用者のニーズに応じて事業所の情報を 力について、明文化していません。 24. 非該当。ボランティア等の受入れば行って 25. 当該地域の関係機関や団体の社会資源の! 議会、基幹相談支援センターや行政と連携しっ 26. 上京こころのふれあいネットワークの活動 ています。「事業継続計画」のなかに災害時の フ7. 上京こころのふれあいネットワークの活動 で地域の福祉ニーズや具体的な福祉ニーズにて

スの実施 J. 適切な福祉サー Ш

評価結果	第三者評価	B	q	p	a	a
単點	自己評価	Ø	60	q	a	Ø
a de de constant	Į 1	障害のある本人を尊重した福祉サービス提供について共通の 理解をもつための取組を行っている。	障害のある本人のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した 福祉サービス提供が行われている。	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的 に提供している。	福祉サービスの開始・変更にあたり障害のある本人(家族・ 成年後見人等含む)にわかりやすく説明している。	福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サー ビスの継続性に配慮した対応を行っている。
		Θ	8	Θ	8	6
通番		28	29	30	31	32
日 史 史	評価項目 II-1-(1) 障害のある本人を尊重する姿勢が 明示されている。		Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明 と同意(自己決定)が適切に行わ れている。			
証価分類	B1 1422 A86			Ⅱ-1 本人本位の福祉 サービス		

保護や虐待防止対応 するための障害者 ビスを理解するた すく説明する福祉サービ レイバツ 7 しかし ·ビスの流れをわ 染マニュアルを 利用者の権利擁護について理解を図っています。 ・原業 利用者にル、衛生 また、ニュアリ Н こ更新しています。 。 苦情事故対応マ 28. 利用者のアセスメント表を1年ごとに更サードスのディート図を作成しています。サースの予ィート図を作成しています。研修会等に職員が参加しています。
29. 職員は雇得の止等の研修等に参加し、マニュアルは整備していません。
30. 行政の催事時に施設のパンフレットを含のニーズや理解度にあわせてパンフレットをせん。
31. 利用者の障害特性に配慮し、わかりや信祉サービスのチャート図を使用することでわかりやすく説明しています。

利は、 はき きで -サービスについての説明を求められたと パンフレット等の情報に関して見直しは す。また、利用者から福祉サ て説明を行っていますが、パ ト、半 :配架してい。 ハ等を使用[をシ

一ビスの流れをわかりやすく説明するために障害者 利用者にサ すく説明しています。また、利用 もあります。 介護保険制度への移行の際には、

っつ K Ľ ~1年前から利用者や家族に介護保険サ 6か月 の障害特性に配慮し、わかりやすスのチャート図を使用することもを明り障害者福祉サービスから介すく説明しています。

は日日が	日 野 田 田	排號		事 本	評価結果
	11111111111111111111111111111111111111	西田	星	自己評価	第三者評価
	Ⅲ-1-(3) 障害のある本人のニーズの充足に 努めている。	33	① 障害のある本人のニーズの充足に向けた取組及び相談や意見 を述べやすい環境を整備している。	f見 b	q
	II-1-(4) 陪事のセスナーが毎日年た法グル	34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	q	q
	‡音ののの本人が悪死寺を近ていずい体制が確保されている。	35	② 障害のある本人からの相談や意見に対して把握する仕組みが あり、組織的かつ迅速に対応している。	d b	q
	(4) +	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	Q S	q
1 IM O	m = −(3) 安心・安全な福祉サービスの提供 のための組織的な取組が行われて いる	37	② 歴染症の予防や発生時における障害のある本人の安全確保の ための体制を整備し、取組を行っている。	ko b	q
•	õ	38	③ 災害時における障害のある本人の安全確保のための取組を組織的に行っている。	q w	q

利用者や家族 ト等は実施し

利用 しかし、

4 アルに沿 11 4 Н .11 利用者の安否確認の方法は 33. モニタリング訪問により、個々の利用者のニーズの把握に努めています。しかし、事業所として利用者へのアンケーていません。
34. 「苦情事故対応マニュアル」があります。苦情対応については、重要事項説明書に対応窓口や第三者委員を記載し、に周知しています。しかし、苦情の記録についての書式様式は定めていません。
35. 2名の職員で運営しているため、利用者や家族の情報共有をスムーズに行うことにより、迅速な対応を行っています。者や家族の意見を積極的に収集する仕組みはありません。
36. 「苦情事故対応マニュアル」など各種マニュアルはありますが、マニュアルの見直しや改訂などはできていません。
37. コロナウイルス発生時のマニュアル、手洗い・うがい励行のマニュアルがあります。利用者が罹患した場合は、マニて対応をしています。しかし、職員の勉強会などは実施していません。
37. コロナウイルス発生時のマニュアル、非洗い・うがい励行のマニュアルがあります。利用者が罹患した場合は、マニて対応をしています。しかし、職員の勉強会などは実施していません。
38. 「事業継続計画書」のなかに災害時マニュアルがあり、細かく対応が決められています。利用者の安否確認の方法はグ実施表に連絡先が記載してあります。しかし、地域の関係機関との訓練は実施しています。利用者の安否確認の方法はグ実施表に連絡先が記載してあります。しかし、地域の関係機関との訓練は実施していません。

0

1

評価結果	第三者評価	v	B	ra	w	q
即雄	自己評価	ပ	co.	æ	Ø	q
1	Z	提供する福祉サービスについて一定の水準を確保するための 実施方法が文書化され福祉サービスが提供されるとともに見 直しをする仕組みが確立している。	① アセスメントに基づく個別支援計画等を適切に策定している。	定期的に個別支援計画に基づく評価・見直しを行っている。	障害のある本人に関する福祉サービス実施状況の記録が適切 に行われ、職員間で共有化されている。	障害のある本人に関する記録の管理体制が確立している。
野価項目 通番		Θ		8	Θ	0
		39	40	41	42	43
		エ-2-(1) 提供する福祉サービスの一定の水 準を確保するための実施方法が確立している。	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 ザービス実施計画が策定されてい る。		エ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に	行われている。
四個分類	工厂工厂		¢	m-7 福祉サービスの質 の確保		

職員 スに 定の水準 Ų П 受給者証 404 面 _ 1 业 × 日の業務終了 セス על À 定期的に行い、 はず。 います。毎日の をいて 作しを成てし 名 計画のイス保管 ウタラ 等の記載があ 対を発展を受験 39. 重要事項説明書にサービス内容、実施担当者等の記載がの実施方法を文章化していません。 40. 独自様式によるアセスメントの実施や、サービス等利用 ニタリング票、利用計画書等の書類を個人ファイルにまとめ 41. サービス等利用計画は利用者の状況の変化により、変更 相互の確認や問題点の話し合いを行っています。 42. 記録の様式としては統一したものを使用しており、職員 43. 2名の職員で事業を運営しており、いつでもお互いのケー 保管しています。個人情報保護規定等は法人で規定していま

· 3 書類の保管は鍵のかかるキャビネ ていません。 、職員はいつでも確認できます。 いのケースについて確認を行っています。 ていますが、職員に対しての研修は行っ

した日常生活支援 1 を尊 る本人 障害のあ

4

部伍人和	日 史 安 年	州		9	評価	価結果
可用力級	日本国土	甲甲	重		自己評価	第三者評価
	A-1-(1) 自立支援	44	① 障害のある本人の自己決定を尊 ている。	 重した個別支援と取組を行っ	B	B
A-1 支援の基本理念	A-1-(2) 権利擁護	45	① 障害のある本人の権利侵害の防 ている。	5止等に関する取組が徹底され	q	þ
	A-1-(3) ノーマライゼーションの推進	46	① 誰もが当たり前に暮らせる社会の いる。	きの実現に向けた取組を行って	р	p
「中中記法職」		90,44,36				100 Television (1970)

21 P しいた る権利擁護に W to 大江 4 利用者や家族| ビス等利用計画を作成し しかし、 to よいよ. 0 を行 尊重しながら 行政への届け出や報告 トに基づき利用者の意向を まには、 (メントに基づき にます。 と把握したときに Tていません。 もの障害特性に なっための取り メませけ者は 44. アセン の場があり 45. 虐待を 機会は設け 46. 利用者 の理解をに

10

て障害特性 す。しかし、地域住民に向け ンの研修も行っていません。 こつなげています。ライゼーション ス利用に、ノーマー 作成し、サービス 、職員に対して、 ービス等利用計画を作 っていません。また、 合わせたサージの組みは行う

「	謝姆
障害のある本人(子どもを含む)の心身の状況に応じたコトニュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。 同害のある本人の意思を尊重する支援としての相談等を適切 a に行っている。 障害のある本人の障害の状況に応じた専門的かつ多角的な視 b 点から支援を行っている。 個別支援計画に基づく日常的な生活支援及び日中活動の支援 b を行っている。	
障害のある本人の意思を尊重する支援としての相談等を適切 a に行っている。 に行っている。 障害のある本人の障害の状況に応じた専門的かつ多角的な視 b 点から支援を行っている。 個別支援計画に基づく日常的な生活支援及び日中活動の支援 b を行っている。 を行っている。 されている。 されている。	⊕ Ⅲ
障害のある本人の障害の状況に応じた専門的かつ多角的な視 b 点から支援を行っている。 個別支援計画に基づく日常的な生活支援及び日中活動の支援 b を行っている。 障害のある本人の快適性と安心・安全に配慮した環境が確保 b	(図) (回り) (ロイ)
個別支援計画に基づく日常的な生活支援及び日中活動の支援 を行っている。 障害のある本人の快適性と安心・安全に配慮した環境が確保 されている。	@ 南7
障害のある本人の快適性と安心・安全に配慮した環境が確保 b されている。	画を
	倒む

葉遣いを高め 支援の方法の検討や見 南ショウョ 利用者の意思 o III to I しかし ています ったってから 40 よいより 0 ーションを っています。 を取 シにし 1 ш 1 ュニケー 夫は行 10 7 を行 шH にコ かりとくみ取るようにコミ しています。 会依頼で個別に適切な支援 切な 適る こる説明を行い、通 rた言葉遣いにする の障害特性に合わせて、口頭や文書による説明? 進まない利用者に対しては、少しくだけた言葉 援までは行っていません。 リングの際等に、利用者の意思をしっかりとく。 ない場合は、家族などに確認して対応していま。 援事業所として、カンファレンスや照会依頼で信 備ができていません。 動については、利用者の状態を把握し、事業所 動については、利用者の状態を把握し、事業所 動については、利用者の状態を把握し、事業所 い対する直接的な支援は行っていません。 動にかっても相談できるように個別に対応でき、 の進援リな援備動

支援に反映しています。 46 事業所に情報提供を行い、計画、

相談支援事業所 を訪問(自化 6 利用者(しかし、 ては、 ١ 相談支援事業所と きる場所を確保しています 動内う

なりません。	日里地班	城		即即	評価結果	眯
またいませ	日子里山	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田			自己評価第	5三者評価
	A-2-(4) 機能訓練·生活訓練	52	0	障害のある本人の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を 行っている。	1	ı
A-2	A-2-(5) 社会生活を営むための支援	53	Θ	障害のある本人の希望と意向を尊重した社会生活を営む力を つけるための支援を行っている。	co.	a
生活支援	-2-(6)	54	Φ	障害のある本人の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応 等を適切に行っている。	ro .	а
	健康管理・医療的な支援	55	8	医療的な支援について適切に提供(連携)する仕組みがある。	Ω	p

また、 状況により事業所見学等に付添っています。 [自由記述欄] 52. 非該当 53. 利用者の意向を尊重し、個々の状態に応じたサービス調整を行い、状況によ 出を行う際には、情報を提供するなどの支援を行っています。 54. 利用者に応じて、医療介護専用SNSの活用で医療職との連携を図っています。 55. 医療介護専用SNSの活用で医療職との連携を図っています。

利用者が外

。入退院時の面談や電話連絡を行っています。 きていますが、職員の研修まではできていません

習用の指	日 配 無/近	常男	1 男 出 記	評価結果	mν
计圖力规	は画は	H H	Į 1	自己評価 第三	三者評価
	A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支 援	26	① 障害のある本人の希望と意向を尊重した地域生活への移行や 地域生活のための支援を行っている。	q	co.
0	A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	22	① 障害のある本人の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a	a
活支援	A-2-(9) (サセット - レゼギ壁・イギナスナ	58	① 障害のある本人の活動・生活する力や可能性を尊重した支援 を行っている。	q	a
	よんらくことでは到・エルチの以への支援	59	② 障害のある本人に応じて適切な仕事内容等となるように取得 と配慮を行っている。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ı
「難芳品田田」				STREET, STREET	

24時間対応の訪問介護事業等につながるように支援 電話や手紙等で情 グ等で確認し、 利用者の状態をモニタリン

評価結果 自己評価 第三者評価 1/U # H 支援等の取組や 定着 雒 坦 報 陆 8 重 就職活 ٦Ú 職場開拓とている。 Θ 通番 9 評価項目 A-3-(1) 就労支援 評価分類 [自由記述欄] 60. 非該当 A-3 就労支援

[様式8]

書 知 浬 果 华 审 站

年 4 N 0 2

Ш /

N 町 N

> 崇 十然 卜株式会社 植野 セルフサポ 代表取締役

会律和生 京都社 地右 般社団法人 眦 岷 岷 414 日付けで第三者評価の受診をお申込みいただいた貴事ターまごのて西陣」の評価結果について、下記のとお今後の施設運営及びサービスの質の向上にご活用くだ 2023年10月6日業所「相談支援センタリお知らせします。 きさい。

ついてご意見等がある場合には、通知を受理されてか [様式10]に基づいて当評価機関宛にご提出くださ 第二、影響を なお、評価結身 ら7日以内に、B

ご連絡がない場 10 p 提出又は意見書に関 せていただきます。 1 J tu 6 定 見を書確 内に、範野評価格無る 日 # 了合 ×

낊

「総括評価」 「評価結果対比ツ-別添 : 評価結果

[様式9

三者評価結果 ービス等第 福祉サー

自 陆 1 簃

名 相談支援センターまごのて西陣 権別 相談支援	名 一般社団法人京都社会福祉士会
蔱	衆

令和6年2月27

5るセルフサポート株式5月に訪問介護事業所を後センターを開設されてデイサービス、相談支援・ビスサービスを開設されてディサービス、相談支援・ビス事業所を運営され ンターまごのて西陣の母体である20年3月に設立され、同年6月た。翌年11月に居宅介護支援で後、デイサービス、放課後等デイ障害事業所及び介護保険サービ 、 で で で で が で を の 後、 ラ タ ー など、 語 キ ま 会開いセイ社設まンい

支を接接受 小 響 評 角 伊神 四三 、無 、て積極的で、 護事業所の第 診に対し、訪問介証、訪問介証

1陣は、令和2年 1されており、お 2を行い、利用者 こうに対応されて sれた相談支援セン 管理者を含めて 2 oいてしっかりと相 っている支援を行う 、います。 法人として、外部評価の受診に ンターを開設された翌月には、訪 されています。 今回、受診をされた相談支援セ 7月に開設され、管理者を含めて 互いのケースについてしっかりとす や家族が必要としている支援を います。

います。 利用者の障害特性に応じて、どちらの職員が担当するのかを話し 合って決めておられ、個々の利用者の状態を適切にアセスメントし、 その内容をしっかりと検討した上で、通所や訪問などの適切なサー ビスにつないでおられます。 また、まごのてグループは、京都市内に相談支援センターが3か 所あり、大まかにエリアを決めて利用者に対応されています。 所あり、大まかにエリアを決めて利用者に対応されています。 少人数の事業所のため、事業運営に苦労される面もあるとは思い ますが、今後のサービスの向上に向けて、アドバイスさせていただ کہ د 合って決めて その内容をし、 アスにしない。

また、 所あり、

すずがずずず # #0

낣

実施 لدّ 適切な 0

うに支援されています。他の職員が作成した計画をお互いに確る機会を持ち、利用者にとって必要な支援を確実に提供できるをとっておられます。また、利用者にサービスを提供しているビス事業所から定期的に利用者の状態を確認し、必要に応じて リングについて、独一ビスの提供ができ ス事業所から定期的に利用者の状態を確認し、必要に応じ 41 アセスメントやサービス等利用計画、モニタの様式を使用して、利用者の状態に応じたサー され tu 更 の様式な لدٌ إ 6 自る認めたかれずます。 計画(

〇他事業者との引継ぎ $\stackrel{\bigcirc}{\times}$ 特に良かった点

おられ、利用者にとって不利益が発生しないように対応されています。そのために、行政や介護保険サービス事業所との連携もされて 他の相談支援事業所から利用者を引き継ぐ際には、それまでと同 ています。利用者が65歳を迎えられる際には、介護保険サービスへの移行がスムーズに行くように、利用者に対して、障害サービスと 等以上の支援を行うために必要な情報を入手するように対応され 介護保険サービスの違いを分かりやすく説明することを心がけて to

○事業計画の策定

それに基 づいて各事業の運営をされていますが、この計画の策定が役員のみで行っておられ、各事業の管理者にも周知されていなとのことでした。また、相談支援事業所としての単年度の事業計画は策定 各年度においての目標等が明らかになっていませ 事業所としての方向性な もとに年度ごとの計画を立て、事業運営のることができるようにされてはいかがでし なれ、 期間を5年に定めた長期計画を策定 支援の向上のため、 46 B 、 さっれ、4 でした。また、相談す されておらず、各年度 んでした。利用者の支 ど明記した長期計画を 目標達成を確実に進め ようか。 ŕ _ 法人

今回が初めての 相談支援事業所としては、令和2年に開設後、今回が初めてのでした。また、個々の職員の評価は職員面談などを通して行 己評価は行っておられませんでし 己評価をしていただき、事業 三者評価を受診されていました 毎年の事業 こしにmacしていただき、事業たと思います。今後は、毎年の事業の支援が適切に行っているかなど、ことを期待します 無 事業所の が、相談支援事業所としては、令受診でした。また、個々の職員のっておられますが、事業所の自己た。今回の受診のために事業所の所の状況確認をしていただけたと所の状況を確認し、利用者への支自己評価を実施していただくこと 人内の他事業所は以前から 〇自己評価の実施 法人内の他事

> まれる点(※) 特に改善が

ポ

1 〇業務.

ニュアルを作成することは、職員が業しく職員となる方が業務を習得するたすので、早期に作成を検討していただ 新し 416 今後 めにも必要であると考え くことを期待します。 # いとのことでした。 務を振り返るため、 を期待し っ な た な が が が が 柏談 かり 4)

7 トは「評価結果対比シ X ※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコの「自由記述欄」に記載しています。